

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はびねす長岡(放課後等デイサービス:スタディ古正寺)		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	95	(回答者数) 54
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日常的にお子様の様子や体調面について保護者の方へ丁寧にお伝えすることを心掛けており、その点について多くの保護者の方から好意的なご評価をいただいております。 お子様の日々の変化や成長の様子を共有することで、ご家庭と事業所が相互に情報を把握しながら協力して支援を進められる体制が形成されています。	日々の活動の様子や体調面の変化について、送迎時の口頭でのやり取りや連絡帳等を通して丁寧に保護者へ伝えることを意識しております。また、些細な変化や成長の様子についても共有することで、家庭と事業所の双方が子どもの状況を理解しながら支援を進められるよう努めています。	今後は、保護者との情報共有の機会をより充実させるため、定期的な面談や支援の振り返りの場を設けるなど、家庭との連携をさらに深めていくことを検討しております。あわせて、保護者からの意見や要望を丁寧に受け止め、支援内容の改善や質の向上につなげていく取組を進めてまいります。
2	個別支援計画を踏まえた支援が着実に実施されていることや説明の細やかさに対して評価をいただいております。 お子様一人ひとりの特性や発達状況を考慮し、それぞれに適した関わりや支援内容が提供されている点が確認されています。	個別支援計画の内容を職員間で共有し、お子様一人ひとりの特性や発達状況を踏まえた支援が日々の活動の中で実践されるよう意識しております。	今後は、より支援の実施状況について定期的に振り返りを行い、必要に応じて支援内容の見直しや改善を図っていくことを検討しております。あわせて、職員の専門性向上のための研修等を通して支援の質を高め、よりお子様の発達に応じた支援が提供できる体制づくりを進めてまいります。
3	お子様が安心した様子で通所しており、日々の活動を楽しみにしているとの声が寄せられています。 このことから、事業所の環境や職員の関わりが、お子様にとって落ち着いて過ごせる居場所として機能していることがうかがえます。	お子様が安心して過ごせるよう、一人ひとりの気持ちやペースを大切にしたり関わりを心掛けております。また、活動内容についても興味や発達段階に応じたものを取り入れ、楽しみながら参加できる環境づくりに努めています。	今後は、お子様の興味関心や成長の変化をより丁寧に把握し、活動内容や環境設定の工夫をさらに進めていきたいと考えております。また、職員間での情報共有や振り返りを通して関わり方の質を高め、より安心して過ごせる環境づくりを継続していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急時や災害時の対応について、十分に周知されていない側面があります。	お子様が安心して過ごせるよう、一人ひとりの気持ちやペースを大切にしたり関わりを心掛けております。また、活動内容についても興味や発達段階に応じたものを取り入れ、楽しみながら参加できる環境づくりに努めています。今後は、お子様の興味関心や成長の変化をより丁寧に把握し、活動内容や環境設定の工夫をさらに進めていきたいと考えております。また、職員間での情報共有や振り返りを通して関わり方の質を高め、より安心して過ごせる環境づくりを継続していきます。	今後は、緊急時や災害時の対応方法について、文書での配布や掲示、保護者会や面談時の説明などを通して、保護者へ分かりやすく周知していく必要があると考えております。また、避難訓練の実施状況や対応体制についても適宜情報共有を行い、保護者に安心していただける体制づくりを進めてまいります。
2	運動型の方が好きという利用者様が一定数おられます。	当事業所は学習活動を中心とした支援を行っているため、身体を動かす活動を好むお子様にとっては、活動内容がやや静的に感じられる場合があることが考えられます。また、お子様の興味関心や得意な活動の幅が多様であることから、すべてのニーズに十分に答えきれない側面がある可能性もあります。	今後は、学習活動の中にも体を動かす要素を取り入れるなど、楽しみながら取り組める活動の工夫を検討してまいります。また、お子様の興味や特性に応じた活動のバリエーションを広げ、学習と運動のバランスを意識した支援が行えるよう環境づくりに進めていきたいと考えております。
3	教室のスペースが十分でないのご意見もあります。	学習活動を中心とした環境を整える中で、机や教材、個別スペースの確保を優先しているため、全体として教室内の空間に余裕が少なく感じられる場合があると考えられます。また、利用人数や活動内容によっては、一時的にスペースが限られてしまう場面が生じている可能性もあります。	今後は、教室内のレイアウトや教材配置の見直しを行い、限られた空間をより有効に活用できるよう工夫していくことが必要と考えております。また、活動内容や利用人数に応じてスペースの使い方を調整するなど、お子様が落ち着いて過ごせる環境づくりに努めてまいります。